

## 平成24年度 桂川・相模川流域協議会流域シンポジウム／水源環境保全・再生 かながわ県民フォーラムについて

### 1 目 的

今年度からスタートした「第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」では、「相模川水系上流域対策の推進」として、相模川水系の県外上流域における森林整備及び生活排水対策の取組を、山梨・神奈川両県が共同して実施する。行政による連携が始まった一方で、市民活動レベルでは「桂川・相模川流域協議会」（以下「流域協議会」）が、両県と連携し環境保全活動を行っている。

そこで、今回の「水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」は、流域協議会が開催している「流域シンポジウム」と共同して開催し、桂川・相模川流域の水源環境を山梨・神奈川の両県で守ることの必要性や重要性について、山梨・神奈川の両県民の意識を共有することを目的とする。

水源環境保全・再生に係るこれまでの取組や、「第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」、特に「相模川水系上流域対策の推進」について情報提供・発信等を行うとともに、県民の意見を幅広く収集することを目的に実施する。

流域協議会では、カワラノギクの保全活動を通じて、流域の河川植生を保全していくことの大切さを発信する。

### 2 開催テーマ

川の声を聞こうよ 桂川～相模川

－絶滅危惧種 カワラノギクの保全－

－山梨・神奈川両県が共同して行う水源環境の保全・再生－

### 3 日 時

平成24年11月24日（土）13:00～16:30（12:00 受付開始）

### 4 場 所

相模女子大学 3号館 314教室

住所：相模原市南区文京2丁目1-1

交通：小田急線 相模大野駅下車 徒歩10分

### 5 主 催

桂川・相模川流域協議会／水源環境保全・再生かながわ県民会議

### 6 定 員

400名（事前申込 申込者多数の場合は抽選）

## 7 構成

	スケジュール	時間	内 容 等
	13:00～13:10	10分	<b>【開会あいさつ】</b> 流域協議会代表幹事／県民会議座長
第1部	13:10～14:20	70分	<b>【基調講演】</b> 養老孟司氏 テーマ「生物多様性を考える」(60分) 質疑応答(10分)
	14:20～14:30	10分	休憩
第2部	14:30～15:25	55分	<b>【カワラノギクの保全活動報告】</b> テーマ 相模川にカワラノギクを復活させよう！ ・報告(映像) タイトル「相模川のカワラノギクをたずねて」(20分) ・カワラノギクの保全について(15分) 相模原市立博物館学芸員 秋山幸也氏 ・提案(みんなのできること) 活動団体からの課題提案(20分) 相模川流域でカワラノギクの保全活動を行っている 4団体から課題提案の報告
	15:25～15:35	10分	休憩
第3部	15:35～16:30	55分	<b>【パネルディスカッション】</b> テーマ 山梨・神奈川両県が共同して行う水源環境の保全・再生 ①山梨県・神奈川県の実践紹介(15分) ・山梨県森林環境総務課長 ・神奈川県水源環境保全課長 ②会場を交えたパネルディスカッション(40分) パネリスト ・天野 望(旧津久井町長、水源環境保全・再生かながわ 県民会議委員) ・浅枝 隆(埼玉大学大学院理工学研究科教授、水源環境 保全・再生かながわ県民会議委員) ・木平 勇吉(山梨県森林環境保全基金運営委員会委員、 水源環境保全・再生かながわ県民会議委員) ・長江 良明(山梨県森林環境部技監、森林整備課長) 進行 田崎日加理(フリーアナウンサー)

## 8 第3部 パネルディスカッションの主旨及び進め方

今年度からスタートした「第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」では、「相模川水系上流域対策の推進」として、相模川水系の県外上流域における森林整備及び生活排水対策の取組を山梨・神奈川両県が共同して実施することとしている。

相模川流域の水源環境保全・再生には、山梨・神奈川両県民の理解と協力が不可欠である。このことから、相模川の源流は山梨県にあるということ、水源環境保全税が山梨県で実施される事業に充てられているということ、山梨県でも今年度から「森林環境税」を導入し森林整備を行っていくことなどを、山梨・神奈川両県民に対して改めて周知を図ることで、「相模川水系上流域対策の推進」の重要性を認識してもらうことを主旨として、パネルディスカッションを実施したい。

参加者に事前に配布されたアンケートに沿って、進行役が参加者の挙手を求めるとともに参加者から感想を述べてもらい、参加者からの感想を踏まえてパネリストから意見をいただく手法で、パネルディスカッションを進めていく。

## 9 申し込み方法

- (1) ハガキ・FAX・申込フォームメールによる事前申し込み制とする
- (2) 申込の際は郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号を記載する
- (3) 申込締切は11月15日（木）（必着）
- (4) 申込人数は400名。申込者多数の場合は抽選
- (5) 参加者にはハガキで入場証を送付する
- (6) 参加費は無料

## 10 広 報

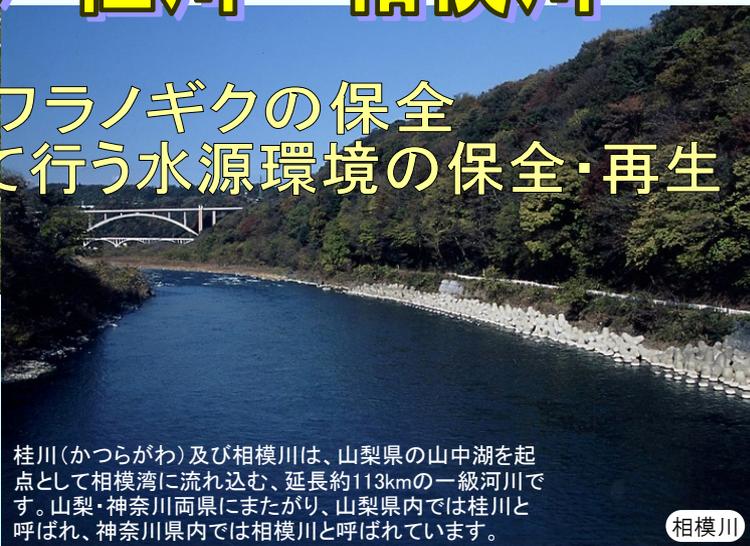
- (1) 記者発表 平成24年10月12日（金）
- (2) 県のたより 平成24年11月号へ掲載
- (3) 神奈川新聞「県民の窓」 掲載日調整中
- (4) チラシの配布（配布先未定）
- (5) 県のホームページへの掲載

# 川の声を聞こうよ 桂川～相模川

絶滅危惧種 カワラノギクの保全  
山梨・神奈川両県が共同して行う水源環境の保全・再生



カワラノギク



相模川

桂川(かつらがわ)及び相模川は、山梨県の山中湖を起点として相模湾に流れ込む、延長約113kmの一級河川です。山梨・神奈川両県にまたがり、山梨県内では桂川と呼ばれ、神奈川県内では相模川と呼ばれています。

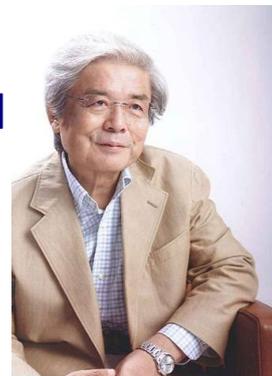
**日時** 平成24年11月24日(土) 13:00～16:30(12:00受付開始)  
**場所** 相模女子大学 3号館 314教室 (相模原市南区文京2-1-1)  
**定員** 400名  
**申込方法** ハガキ・FAX・ホームページによる事前申込

※応募多数の場合は抽選 申込方法はウラ面をご覧ください

**第1部** 基調講演 **養老 孟司**「生物多様性を考える」

**第2部** 活動報告「相模川にカワラノギクを復活させよう！」

- カワラノギクを訪ねて(映像記録)
- カワラノギクの保全活動にむけて(秋山幸也 相模原市立博物館学芸員)
- みんなでできる保全活動(カワラノギクを守る会、愛・ふるさと、湘南地域協議会、さがみはら地域協議会)



**第3部** パネルディスカッション「山梨・神奈川両県が共同して行う水源環境の保全・再生」

**パネリスト** 浅枝 隆(埼玉大学大学院理工学研究科教授)  
天野 望(旧津久井町長)  
木平 勇吉(東京農工大学名誉教授)  
長江 良明(山梨県森林環境部技監・森林整備課長)

**進行** 田崎 日加理(フリーアナウンサー)

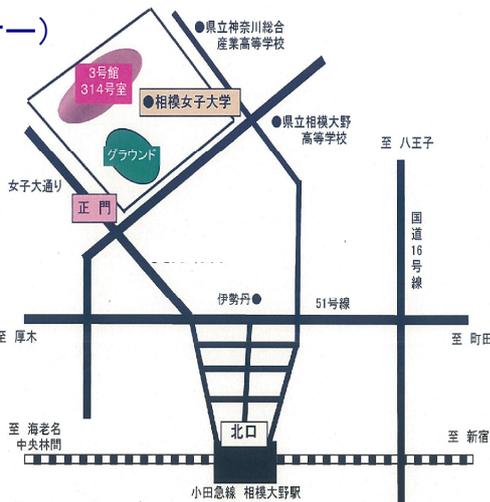
山梨県の西湖から、クニマス(標本)がやってくるよ!



水源環境保全・再生イメージキャラクターしずくちゃん



託児サービス有(満2歳児～未就学児対象・要事前申込)



**【主催】**

桂川・相模川流域協議会  
水源環境保全・再生かながわ県民会議

**【お問い合わせ】**

神奈川県 環境農政局水・緑部 水源環境保全課  
住所 〒231-8588 横浜市中区日本大通1  
電話 045(210)4352 FAX 045(210)8855  
ホームページ「かながわの水源環境の保全・再生をめざして」

かながわの水源環境保全

検索